

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルホーム池田	階数	地上3F
建設地	大阪府池田市五月丘1丁目	構造	木造
用途地域	第1種低層住宅専用地域、法第22条	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年 予定	評価の実施日	2020年9月20日
敷地面積	2,046㎡	作成者	藤原 知也
建築面積	790㎡	確認日	2020年9月23日
延床面積	2,110㎡	確認者	田中 弘章



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	地域環境に根差した施設となるため既存樹木を残し、また居住者が快適な日常生活を過ごせるように配慮した設計としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱性能の向上を図り、内装材は全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆を採用、全室個室とした住戸居室は自然採光・自然換気を十分に確保するなど室内環境に配慮した設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木を生かした建物配置とするとともに、道路際に生垣を設けるなど周辺環境へ配慮した設計としている。
LR1 エネルギー	断熱性能を高め、全面的にLED照明を採用・太陽光発電設置するなど省エネルギー性を高めるよう配慮した設計としている。	LR3 敷地外環境 植栽により緑被率を高めて敷地外への熱的減速を図り、駐輪・駐車スペースを確保して交通負荷の抑制を行い、分別回収可能なごみ回収コンテナを設置し専門業者による回収を行うなどライフサイクルCO ₂ 排出量を抑えるなど、敷地外環境に配慮した設計としている。
Q2 サービス性能	バリアフリー基準を遵守し、高齢者施設としての利便性・安全性を配慮した設計としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器・リサイクル建材などを採用し、資源・マテリアルに対して配慮した設計としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0074

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ロイヤルホーム池田						
		建設地	大阪府池田市五月丘1丁目48、49-1、49-2、101-3						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減						4		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	建物の断熱性						5		
④	エネルギー削減						5		
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				4.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									